



## ■6/23「第5回通常総会」報告

理事長 川岸 卓哉



総会には約 30 人が出席 @てくのかわさき

6月23日、川崎市高津区溝の口「てくのかわさき」にて、第5回通常総会を開催しました。最初に、株式会社生活クラブエナジー 営業部長 知野二郎様、2号機・3号機を施行頂いた株式会社太陽住建 総務部部長 近藤博史様、かわさき生活クラブ生協 常務理事 野村美湖様より、ご来賓挨拶いただきました。ご来賓のみなさまをはじめ



知野様



近藤様



野村様



川岸理事長

多くの方のご協力で当NPO法人も5周年を迎えることができ、ご協力いただいたみなさまには、あらためて感謝申し上げます。総会では、昨年度の活動報告・会計報告の後、本年度の活動方針として、以下が採択されました。本年度も多様な活動に取り組む所存です。引き続きよろしく願いいたします。

### 1) 事業活動

すでに予定地が決まった4号機は、技術面・採算面・ファイナンス面などの諸課題も詰め段階となっており、本年中の設立をめざします。あわせて、当NPO法人も5周年の節目を迎えることから、4号機の通電式とあわせて記念イベントを開催し、私たちの活動理念である脱原発と再生可能エネルギー普及のための機会とします。

### 2) イベント開催

スタディツアーを定期的で開催します。脱原発運動の現地の声や、再生可能エネルギー普及の現場から学ぶとともに、内外の交流を深め、次の活動へ向けての智恵と活力を得るようにします。5回目を迎えるおひさまフェス×星空上映会は、持続可能性のある運営体制作りが課題です。これまでの蓄積を活かしながら、地域に根ざして、楽しく再生可能エネルギーの意義を学べる有意義なイベント作りを目指します。



### 3) 政策提言活動

川崎市再生可能エネルギー市民条例案の成立へ向けて、推進母体である川崎地域エネルギー市民協議会や、協力団体である川崎医療生協やかわさき生活クラブ生協とともに、積極的に運動を広げます。また、浜岡原発の神奈川県に対する危険性の啓発活動も推進し、脱原発世論を広めます。

### 4) 組織事務

発電事業の拡大や会員の増加に伴って、益々、事務作業が増えていくと思われます。収益事業、非収益事業ごとに会計事務・作業、組織事務・作業の見直し・整理をして、事務局のあり方や配置等、事務局体制の強化について考えます。特に、収益事業に必要な最低限の事務については、ワーカースコープ等他団体への業務委託も含めて検討を進めます。

## ■ 総会後の意見交流会 「原発ゼロ」の達成を目指して

副理事長 三枝 信子

NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所(以下、原発ゼロ発電所)の活動の目的は、その名の通り、原子力発電所をゼロにすることです。原発がなくても電気が足りることを証明していくため、地域のエネルギー分散自立と再生可能エネルギーへの移行を目指して、まず太陽光発電所を建設してきました。

福島第一原発の事故後、市民発電所も含めて太陽光や風力などの再生可能エネルギー発電所が数多く稼働を始めましたが、残念ながら、いまだに日本のエネルギー政策は原子力を維持する方向です。再稼働や稼働期限の延長が行われているほか、新規の原発建設計画(山口県上関原発)すらストップすることができていません。

果たして、これが国民が求めていることでしょうか? この方向性を、どうやって変えていくかが、これからの原発ゼロ発電所の大きな課題です。



テーマを決め、4グループに分かれてディスカッション。盛り上がりました♪

そこで、「原発ゼロを達成するために」これから原発ゼロ発電所で何をするべきか、総会終了後に参加者の方々と一緒に考える場を持ちました。また、改正FITでの課題や発電事業で発生する収益を社会還元する方法、仲間を増やしていくことなどについても、グループに分かれて意見を出し合いました。

国のエネルギー政策を変え、原発をゼロにするためには、政治を変えていく必要があります。政治にインパクトを与えていくためには、もっと市民がつながることによる市民力を

上げていく必要がありますが、昨今では、市民は原発事故や東日本大震災から関心が薄れてきてしまいました。まだ福島に戻れない避難者や仮設住宅から出られない方々も多いのに、オリンピックへの関心をあおるあまり、復興支援対策が後回しになっている現状があります。

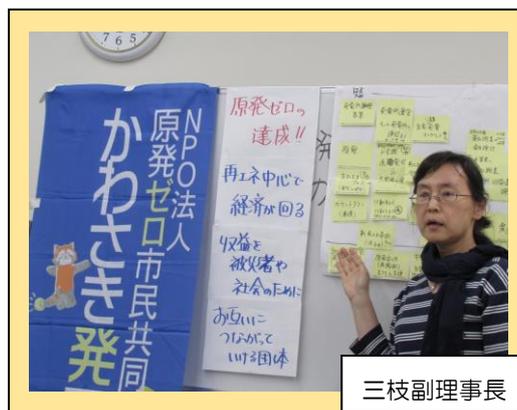


川崎では震災の翌年から市民有志が『原発ゼロへのカウントダウン in かわさき』を開催し続けていま



すが、より強い影響力を持つためには、「諦めない」という強いメッセージとともに、もっと参加者を増やす必要があることなどが話されました。

また、社会還元のための長期的なシミュレーションの必要性や、仲間を増やすための新しい企画案では、原発ゼロ発電所の電気を「おひさまフェス×星空上映会」以外のイベントでも活用してもらったり、防災をテーマに企業などとも連携したり、などのアイデアが出されました。なかなか進まない電力会社の切り替え手続きを手助けするイベントも検討の一つです。会員の方も含め、地域の方も参加できる、楽しい・ワクワクな企画を増やしていきたいと思っています。みなさまも、こういうことをしたら良いのではないかと、という案がありましたら、ぜひ、お聞かせください。



三枝副理事長

この日、話されたテーマは、どれもみな「原発ゼロ」達成のための方法です。参加して下さったどの方も、とても熱心に、真剣に、意見を述べてくださいました。ありがとうございました。

原発ゼロ発電所は、これからもみなさまと一緒に、一刻も早く「原発ゼロ」を達成できるよう、そのための組織としてありたいと考えています。



## ■9/28「おひさまフェス×星空上映会」今年も開催します！

おひさまフェス実行委員会事務局 木下 博行（当NPO会員）



2011年3月11日の東日本大震災と福島第一原発事故から8年が経過しました。今も避難生活を余儀なくされる方々が大勢いる中、復興は予定通り進んでいるとは言えません。それに加え新たな課題も見えてきている現状です。

「おひさまフェス×星空上映会 in かわさき」は、川崎でさまざまな市民活動に関わってきた仲間が企画をした、再生可能エネルギーを用いた音楽フェスと映画上映を中心としたイベントで、今回5回目を迎えます。「川崎らしい」多摩川の河川敷を会場とすることで、自分たちの身近にある歴史や豊かさなどの魅力の発見をしてもらうとともに、楽しいイベントの中での人やモノとの出会いを通じて、市内外の来場者がエネルギー・環境・子育て・文化などこれからの社会のありかたについて考えてもらうきっかけの場となることを目的としています。

更に今年は、電源車を提供いただいている横浜トヨペットさんがブースを出したいという話もあります。2～4回まで天候にたたられ完全実施ができなかった映画上映会は、何としても実施したいです。

イベントの時間は短縮しますが、再生可能エネルギーに関する取組と、NHKが特番を組むなど話題を広げているかこさとしさん作品の上映会を成功させ、中身の濃いイベントにしたいと思っています。

### ★おひさまフェス×星空上映会★ in かわさき

日時：2019年9月28日(土) 15:00～20:00

場所：二ヶ領せせらぎ館下 多摩川河川敷(川崎市多摩区宿河原1-5-1)

※荒天の場合は翌日に延期



## ●おひさまフェス（15:00～18:00）

地元で活動する太鼓集団の演奏とキッズダンスを中心にフェスを盛り上げたいと思います。ブースでは再生可能エネルギーの取り組みと、上映会にまたがる飲食物の販売を中心に企画します。

## ●星空上映会（18：00～20：00）

日没後に飲み物や食べ物を片手に、親子で楽しめるような映画の上映を太陽光発電で得た電気を使って行います。原発ゼロ市民共同かわさき発電所の取り組みを紹介するオープニングセレモニーを行い、上映はかこさとし作品とエリックカール作品を上映します。映画上映後にはキャンドルを用いたクロージングイベントを行いたいと思います。

主催：おひさまフェス×星空上映会 in かわさき実行委員会

共催：NPO 法人多摩川エコミュージアム

後援：神奈川新聞社（承認済み）、川崎市（予定）、川崎市教育委員会（予定）

協力：NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所、ワーカーズコープ、「福島の子もたちとともに」川崎市民の会、希望のつばさプロジェクト、ミツバチの会、原発ゼロへのカウントダウン in かわさき等の団体（2019年7月現在）

ぜひ、大勢のみなさまに楽しんでいただきたいです♪

★★

## ■『首都圏の原発、東海第二原発の再稼働を止めるために行動しよう！』

原発ゼロへのカウントダウン in かわさき事務局長 鴨下 元（当NPO理事）

川崎市に住む私たちにとって、比較的近くにある東海第二原発（茨城県）と浜岡原発（静岡県）の再稼働問題は、自分の暮らしと地域を守るためにも絶対に許すことのできない問題です。

とりわけ東海第二原発は、運転開始からすでに40年が経ち、本来であれば廃炉にすべき老朽化した原発です。ところが原子力規制委員会は、最長20年の運転延長を認める決定を、昨年11月にくだしました。分厚い鋼鉄製の原子炉圧力容器でさえ、強い放射線に長年さらされると、もろくなることがわかっています。あらゆる機器、部品が古くなっており故障の可能性もある中、50年、60年と老朽化した原発を動かすことは極めて危険な行為です。しかも、東海第二原発は東日本大震災で被災、津波をかぶり、非常用ディーゼル発電機の一部も使えなくなるなど、一歩間違えれば福島第一原発と同じ運命になるところでした。何度も強い揺れに襲われており、点検では見つけれない機器の劣化が懸念されます。

東海第二原発を運営する日本原子力発電株式会社は、再稼働に必要な防潮堤などの工事が2021年3月に完了する見込みであり、準備が整えば、再稼働する意向を表明しています。絶対に許してはいけません。川崎市から東海第二原発までは、およそ150キロしかありません。原発が事故を起こせば川崎市民も大きな影響を受けます。

原発ゼロへのカウントダウン in かわさきでは、今年も3月に中原平和公園で集会とデモを開催し、1300人が参加して「東海第二原発再稼働反対」の声をあげました。



9月22日(日)には、東海第二原発再稼働をテーマにしたドキュメンタリー映画『恐怖のカウントダウン—東海第二原発を止めたい』(30分)の上映と、原発訴訟や再エネ普及の活動にとりくんでいる河合弘之弁護士の講演会を開催します。(資料代500円、事前申込不要、どなたでも参加できます。)

ぜひ、一緒に学び、原発再稼働を止めるために声をあげましょう。

**日時：9月22日(日)14:00開始**      **資料代：500円**  
**場所：多摩市民館 大会議室**  
**上映：『恐怖のカウントダウン—東海第二原発を止めたい』(30分)**  
**講演会：河合弘之 弁護士**



## ■7/24、北東京生活クラブ生協へ行ってきました



生活クラブ生協は、脱原発・脱炭素をめざし、持続可能な再生可能エネルギーシフトをすすめるため、「生活クラブでんき」に切り替える組合員を増やそうと目標をもって取り組んでいます。今回、職員向けのステップアップ研修に呼ばれた理由は、生活クラブでんきの生産者である原発ゼロ市民共同かわさき発電所の実践を聞いて、電気をもっと語れるようになろうということで、課されたお題は「電気の自治を市民の手に！」と大仰です。

7月24日、北東京生活クラブの練馬センターに仕事を終えた皆さんが集まりました。事業検討チームの永田真一氏が講師となって、まずはプロ

モーションビデオを見ていただいてから、パワポを使ってお話ししました。私たちがどのような思いで市民発電所1号機・2号機・3号機を作ってきたのか、原発ゼロを目指して政策提案してきたことや、質問に答えて技術的なことも説明しました。皆さんが丁寧に書いてくださったアンケートには「市民の力で発電所を作るなんて、しかも無利子で800万を集めたパワーがすごい!」、「再エネ条例の学習を4年間も重ね、制定に取り組んでいることに感銘を受けた」、「小さな共同体、エネルギー自治への行動は生活クラブと一緒にだなぁ」など多数。懇親会でも共有・交流できてとても愉快でした。このような機会をいただけて感謝です。



副理事長 加藤 伸子

**【編集後記】**当NPO法人は2014年7月に設立してから丸5年。第5回総会を無事終了することが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。  
7月の参議院選挙で「原発ゼロ」は争点にならず。私たちはこれからも、たんとんと歩いてゆくのだな。同じ志をもつ仲間と励まし合い、未来に向けての大きな希望を共有しながら。(加藤伸子)

でん太通信は、ほぼ隔月15日に発行しています。

**■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■**  
ホームページ  
<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>  
フェイスブック  
<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>  
連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

☆今月号は5ページでお送りいたします。

